

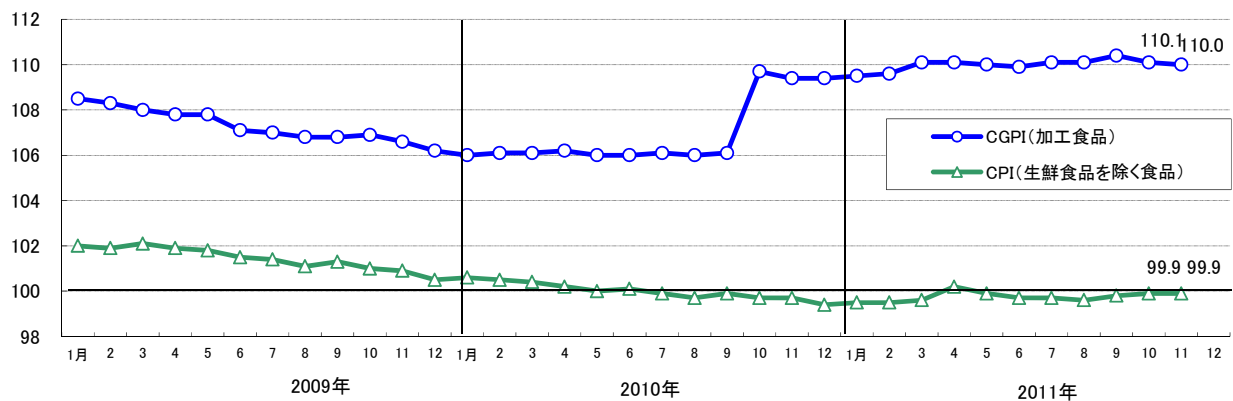
# 加工食品の物価及び生産・販売動向

## 1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は上昇傾向、消費者物価は概ね横ばい傾向

加工食品の企業物価指数は、2010年10月から原材料の高騰を背景に上昇に転じ、2011年11月は110.0と高水準を維持している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同99.9で、総じて横ばい傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

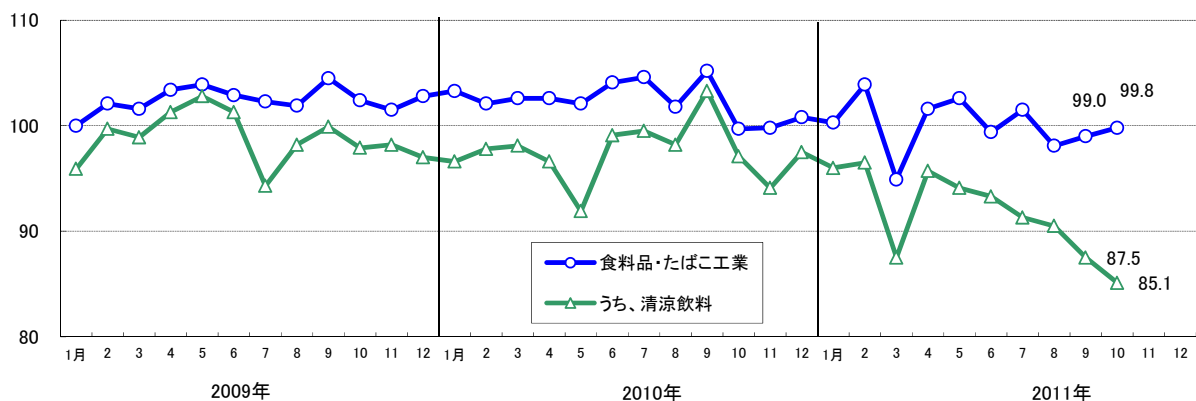
## 2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比で横ばい、うち、清涼飲料はやや低下

10月の食料品・たばこ工業の生産指数は、99.8で前月比0.8%と横ばいになっている。東日本震災の影響等により3月は大幅に減少し、その後回復傾向にあったが、猛暑や台風の影響から低下した。

うち、清涼飲料は85.1で前月比▲2.7%となっている。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2000年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

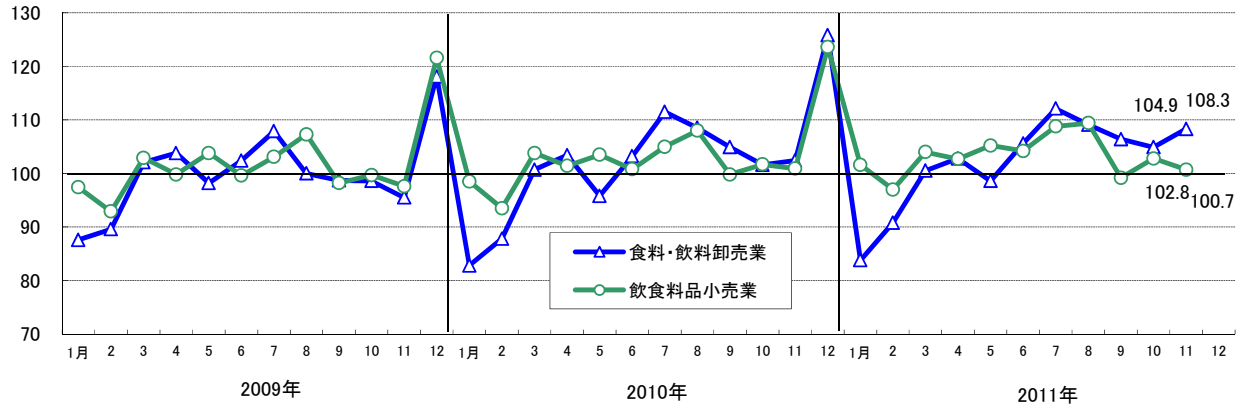
### 3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業の販売額は対前年比でやや増加、小売業の販売額は対前年比で横ばい

2011年11月の食料・飲料卸売業の販売額指数は108.3で対前年同月比5.8%増。

飲食料品小売業の販売額指数は100.7で同▲0.2%と横ばいになった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

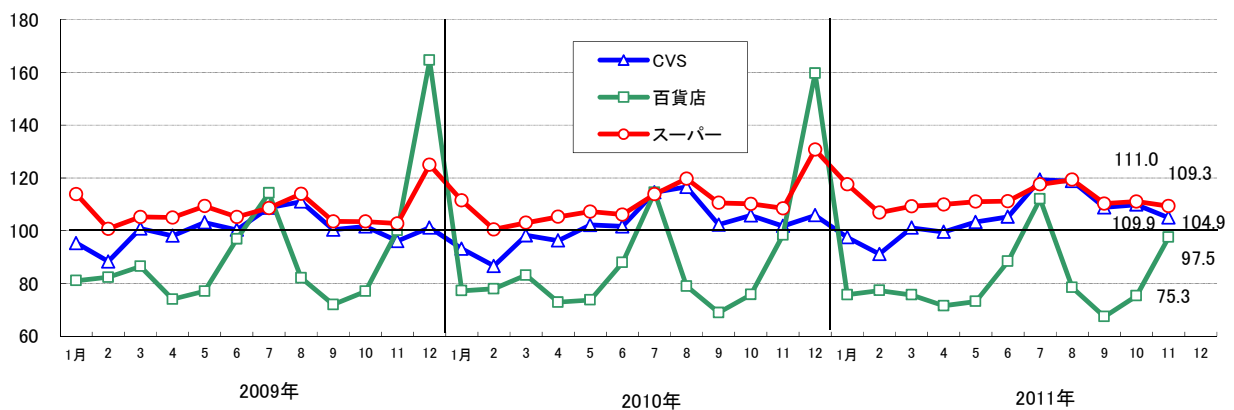
### 4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは増加、スーパーは横ばい、百貨店は減少傾向

2011年11月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは104.9で対前年同月比3.1%とやや増加した。スーパーは109.3で同0.8%、百貨店は97.5で同▲0.9%と横ばいになっている。

コンビニエンスストアは引き続き好調を維持しているが、スーパーでは増加から横ばいに転じている。一方、百貨店は引き続き減少傾向で推移している。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。